

平成23年度 景観市民ワークショップ

第4回地区別ワークショップ開催

平成二十三年度景観市民ワークショップ「大田地区まち歩き」が十月十八日（火）に開催されました。たくさんの方に参加いただきました。皆さんのご参加に感謝いたします。

当日の行程は、午前九時にイトーヨーカ堂を出発し、三福寺、八坂神社、水神様、東円寺、日月神社と大田地区の西側に当たる沼目、平間地区を歩きました。（二面に地図を掲載しています）

景観まちづくり  
市民ワークショップ通信

第 6 号  
編集・発行：伊勢原市  
都市部都市総務課  
平成24年3月28日

大田地区まち歩き

意見交換

まち歩き終了後、みなさんからまち歩きを通じて感じた大田地区の景観まちづくりについて、お話を伺いましたので、紹介します。

◎大田地区は民話に繋がるものが多くある。この民話を紙芝居で伝える人たちがいるらしい。そういう人の話を聞くのもよいこと。景観の印象も変わるのではないかと思う。

◎八坂神社での説明や廣濟寺での説明がとても内容が濃く、社寺のみではなく、広く地域の成り立ちなどを知ることができた。

◎文化財と景観は少し違うものであると思う。ただ歩いていては、良い景色だなと感じる所は少ないが、その歴史や背景などを理解しながら見ることがいつもと同じ景色もすばらしく感じる。

◎子どもの頃から住んでいるので、今まで伊勢原の事は何でも知っていると聞いていた。まち歩きに参加して、今までは、知らないところがあることに気づかなかったから、そう言ったのだと改めて思う。

同じ切り通しでも、地域によってその感じはさまざま。やはりその場に行ってみないとわからない。



舟つなぎの松の近況  
昨年訪れた時は、立て札がひっそりと立っただけでしたが、云われを記した看板と立派な石碑が建立されていました。



地区の特徴である広い空のもと田園風景を堪能



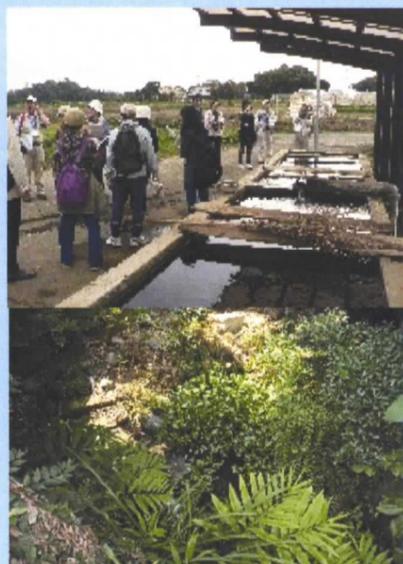
地域のむかしを聞く

湧水と野菜洗い場

平間地区の畑を歩いているとその真ん中あたりに、カーポート車庫のようなものが見えました。近づいてみると、清水をたたえたコンクリート製の水桶がありました。畑で採れた作物を洗うために、地域の皆さんが作られたものなのでしょう。それを、まち歩きに参加された皆さんは、興味深く眺めていました。

感想の中にもありますが、この地区には川はありません。そのかわり、湧水が点在しており、中には、魚が泳いでいるもの、下に掲載している写真のように、庭の隅でひっそりと湧き出しているものもあります。しかも、そこは、絶えずきらきら光る水で満たされています。

また、成瀬地区のまち歩きの中でも紹介しました「水神様」が、平間地区内にもありました。地域の皆さんが、昔から「水」に対して特別な



写真(上)野菜洗い場、(下)庭隅の湧水

思いをもっているということが、こちらでも見ることができました。

湧水は、普段の手入れを怠ると、枯れてしまったり、汚くなったりします。きっと、地域の皆さんが湧水に親しみをもって、世話をしているのだと感じました。

とわからないことがたくさんある。今日も多く気づきがあった。

◎昔を感じられる、昔がわかるものは、景観として共感されており、また、人々の生活やコミュニケーションという部分での景観も評価されると思う。地域の人が愛着をもって誇りを持つことが、よいまちづくりに繋がるのではないかと。

◎三十年前に大田地区に来たときの印象として、大きく開けた田畑の景色というのが、焼き付いていたが、久しぶりに見たこの地区は、かなり建物が建ち、景色が変貌していた。時と共に景観は変わっていくのだと感じた。

◎川が、近くにないにも関わらず田畑が広がっている。豊富な湧水と西部用水が潤してくれている特別な場所。

◎八坂神社は、地域の方々が長年大切にしてきた場所だと言うことが、とてもよく伝わってきた。

◎歩き方によって景観は変わると思う。見る人の気持ちによっても大きく左右されると思う。



いせはら市景観まち歩き（大田地区）（H23.10.18）

大山をバックに記念撮影

# 大田地区まちあるきマップ

コースルート

訪問場所

